

平成 26 年度 NETIS を活用した点検等技術の公募について

老朽化対策に資する、既に実用化段階にある新たな点検等技術について募集します。実施テーマに関する公募情報などについては、後日、各テーマを担当する地方整備局等よりお知らせします。

1. 実施テーマ（予定）

①コンクリートの健全度調査

例：「コンクリート構造物の塩化物イオン含有量の非破壊、微破壊調査方法」等

②構造物内の空洞調査

例：「トンネル覆工の背面空洞の調査方法」「小径の樋管内の空洞化を計測する技術」「堤体内部の空洞化等を調査する技術」「凹凸のある護岸裏の空洞化を調査する技術」等

③き裂等の調査

例：「上塗り塗装施工したままで可能な溶接部の亀裂、劣化調査」等

④維持（長寿命化等）

例：「新素材繊維接着工（コンクリート剥落対策）」「コンクリート表面保護剤（含浸剤）」等

2. 試行・評価の進め方

- 応募された技術のうち活用効果が高いと思われるものについては、国土交通省の事業・実現場において試行し、その機能・性能などを確認・評価します。
- 現場での試行は本年度中を予定していますが、現場状況等により時期等変更や中止する場合があります。
- 試行現場及び試行期間については、後日お知らせします。
- 試行に必要な費用は、原則として、全て応募者の負担とします。
- 評価結果は、新技術情報提供システム（NETIS）維持管理支援サイトで公表します。

<http://www.m-netis.mlit.go.jp>